

## 霧ヶ峰・車山山行報告



【山行日】2017年 8月 11(金)曇り時々晴れ

【集合】岩舟支所P AM 6:00

【費用】マイカー1台 : 3,700円

【メンバー】CL: 鈴木、大西、島田、関、津佐、  
福田々

【コースタイム】岩舟支所 P6:00 = 八島湿原

P8:50/9:10~物見石 10:20~蝶々深山 10:50~

車山乗越 11:20~車山山頂 11:40/12:20~

車山乗越 12:40~ころぼっくるヒュッテ 13:10/13:20

~ヒュッテみさやま 13:50/14:00 = 八島湿原 P14:40/14:55 = 岩舟支所 P18:15

いつも秋に計画した霧ヶ峰山行、花の時季に歩いてみたいと計画した。

上信越道を走り途中雨が降っていたが、八風山トンネルを抜けると晴れ間が見え安堵する。

ところが山道に入り、高度が上がるにしたがってガスが掛かり、視界が悪くなってきた。

八島湿原駐車場に着くと、すでに多くの車が止まっており、係の方の誘導に従って靴間を駐車する。

ビジターセンターやトイレの前は大勢の観光客やハイカーで溢れている。我々もトイレを済ませ、ストレッチを行って出発する。トンネルをくぐって道路を渡り、湿原入口の案内板で写真を撮り、湿原歩道を下りて行く。ガスが晴れ湿原が目の前に現れ、「ウワ~~~綺麗」と歓声が上がり、湿原を写真に収める。

八島湿原は霧ヶ峰の湿原の中で最大の湿原で、国指定天然記念物に指定されている。湿原の外周には遊歩道の木道が整備され、北側の遊歩道を歩いて行く。木道の両側に沢山の花が咲き乱れ、ヤナギラン、イブキトラノオ、クガイソウ、ノアザミ、ギボウシ、シモツケソウ、ハクサンフウロ、



アサマフウロ等々の花に圧倒される。湿原の先から樹林帯に入り、奥霧ノ小屋の先のトイレで小休止する。広い登山道を緩やかに進み、沢を渡ると傾斜がきつくなりカヤトの道を九十九折れに登って行く。登りついたところが大きな岩がある物見岩で、八島湿原や鷲ヶ峰、車山が見渡せる。小休止し水分を補給して、呼吸を整える。ここから蝶々深山へ向かう道は、たおやかな草原を辿るもっとも霧ヶ峰らしいトレイルで爽快に歩ける。花はヨツバヒヨドリの花が多く、マルバダケフキやアキノキリンソウな



どが彩りを添えている。蝶々深山からの眺望も素晴らしく、大勢の登山者が休んで景色を楽しんでいた。我々も休憩し、景色を楽しみながらトマトやクッキーをいただく。ここから車山湿原に下り、登り返すと車山乗越に着く。乗越から車山山頂まで、きつい登りになるがリフトで登って来た観光客と一緒にいるので、負けないう頑張り。20分頑張ると山頂の一角に着き、直進して巨大な気象レーダーの脇を通り山頂に着く。ランチタイムとし、早速焼きそばを作りF田さんのお稲荷さんと一緒に美味しくいただいた。昼食が済んだら、山頂で記念写真を撮り下山する。下山は車山乗越まで来た道に戻り、この先の分岐をころぼっくるヒュッテに向かう。ヒュッテ脇のトイレを借り、沢渡へ向かって降りて行く。



滑りやすい登山道で、慎重に下るが「オットット〜」の音が響き渡る。沢渡に出て少し舗装道を歩き、車止めの先から砂利道を歩きヒュッテみさやま手前から右に八島湿原に向かう。ここからは木道になり、八島湿原の南の縁を歩いて行く。こちらの遊歩道も花が多く、特にヤナギランの群生はピンクに染まり見事だった。ヨツバヒヨドリの花も多く、その花を求めてアサギマダラが沢山蜜を吸っていた。最後まで花を愛でながら楽しく歩き、深田久弥が「霧ヶ峰は遊ぶ山」と言った意図が理解できた気がした。

八島湿原駐車場に戻ると大勢の観光客で賑わっていた。人ごみは好きでないので、トイレを済ませたら早々に引き上げる。帰り道、新しくオープンした道の駅「ヘルシーテラス佐久南」に寄り、ソフトクリームを食べお土産を買って帰路につく。上信越道に入り、渋滞が少しあったが予定より15分遅れで岩舟支所に帰着できた。